

# 学校だより

平成20年9月1日  
横浜市立東戸塚小学校

## 夏の思い出

副校長 高橋 貞則

せみの声が響き渡っていた校庭に、子どもたちの元気な声に戻ってきました。40日間あまりの夏休みをどんなふうにご過ごしたのでしょうか。

夏休みの思い出は年月が経っても、鮮明に思い出すことができます。近所の友だちと毎朝行ったラジオ体操、近所のおばあさんによくもらったもぎたてのトマト、家族旅行で初めて泳いだ海、なつかしい思い出がつぎつぎに浮かび上がってきます。そうした夏の思い出には必ず友だちや家族など自分以外のだれかが一緒にいます。人との関わりが深かったほど思い出も深く刻まれているような気がします。

さて、この夏は中国の北京でオリンピックが開催されました。鍛えあげられたアスリートたちの競技や演技を、手に汗してご覧になった方がたくさんいることと思います。必死にがんばっている姿は、人の心を揺さぶります。感動を与えます。ところで、試合の終わった後のインタビューで選手たちの多くは次のような言葉を残していました。「周りの人のバックアップでここまで来られました。」「家族やコーチに支えられたおかげです。」「みんなの応援が力になりました。」と。もちろん、オリンピックに参加できたり、活躍できたりしたのは、本人の努力のたまものであることに疑いの余地はありませんが、自分の力だけでなく、家族や周りの人たちの力が大きかったと感謝の言葉を発していました。

幼少の頃の夏の思い出とオリンピック選手の言葉。二つのことに共通しているのは、「人とのつながり」です。一緒に喜ぶ人がいれば喜びは増します。一緒に悩みを分かち合える人がいれば悩みは減ります。自分だけではできないことも友だちがいればできることがあります。家族の応援があって勇気を出して踏み出せることもあります。人とのつながりを大切にし、謙虚な気持ちで人への感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。

今日から通常の学校生活が始まりました。友だちがいるから学習が深められる、クラスみんなで取り組むからやりがいがある。そういった人とのつながりやふれあいがある学校ならではの体験を数多く味わってほしいと思います。また、すべての子が、自分の夢や願いを大切にしながら、安心して伸び伸びと自分らしさを発揮できるよう、教育活動を進めていきたいと考えております。

### 東戸塚小学校 教育目標

一人ひとりのゆめや願いを大切にしながら、ゆたかに学び合おうとする子を育てます

本校の浮谷厚史校長が、加療のため、療養休暇をとっております。予定では9月末までの療養です。

その間、高橋貞則副校長が代わって、校務にあたります。しばらく、ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解をお願いいたします。

